

社会インフラへのセキュリティ脅威をマネジメントシステムで守る CSMS構築支援サービス

社会インフラシステムをサイバー攻撃から守るには、システム面での防御に加え、組織や運用も含めた多面的なセキュリティ対策が必要です。そこで日立は、一般財団法人 日本品質保証機構(以下、JQA※1)の知見も活用し、国際標準に沿ったCSMS※2の構築を支援する新サービスを提供。社会インフラシステムのセキュリティレベルを向上させるマネジメントシステムの構築をトータルに支援します。

※1 Japan Quality Assurance Organization
※2 Cyber Security Management System

制御システムへの セキュリティ脅威が広がる

国際的なイベント開催など、日本ではサイバーセキュリティ対策の強化が大きな課題となっています。これまで情報システムを対象としてきたサイバー攻撃の対象が、システムの広域運用、事業者間連携、IoT活用などが進みつつある社会インフラシステムにも広がってきているからです。

社会インフラシステムは、一般的な

情報システムとはセキュリティ運用が異なり、長期間の運用によって最新のソフトウェアが適用できないケースも多く、今後もセキュリティレベルを維持・強化していくためには抜本的な運用の見直しが必要です。

電力、ガス、水道、鉄道、医療など、日々の暮らしやビジネスを支える社会インフラには、24時間365日停止できないミッションクリティカル性と、万一の際にもサービスを継続して提供することが期待されています。サイバー攻撃の手法が

巧妙化するなか、システムの防御だけでは十分とはいえ、攻撃を受けた際、問題箇所を迅速に特定し、対策・復旧できる組織や運用体制も構築しておくことが重要です。

そこで日立は、社会インフラを「システムで守る。組織で守る。運用で守る。」をコンセプトとした「H-ARC」を提唱し、さまざまな社会インフラ事業者との協創を進めながら、安全・安心な社会インフラシステムの実現に貢献したいと考えています(図1)。

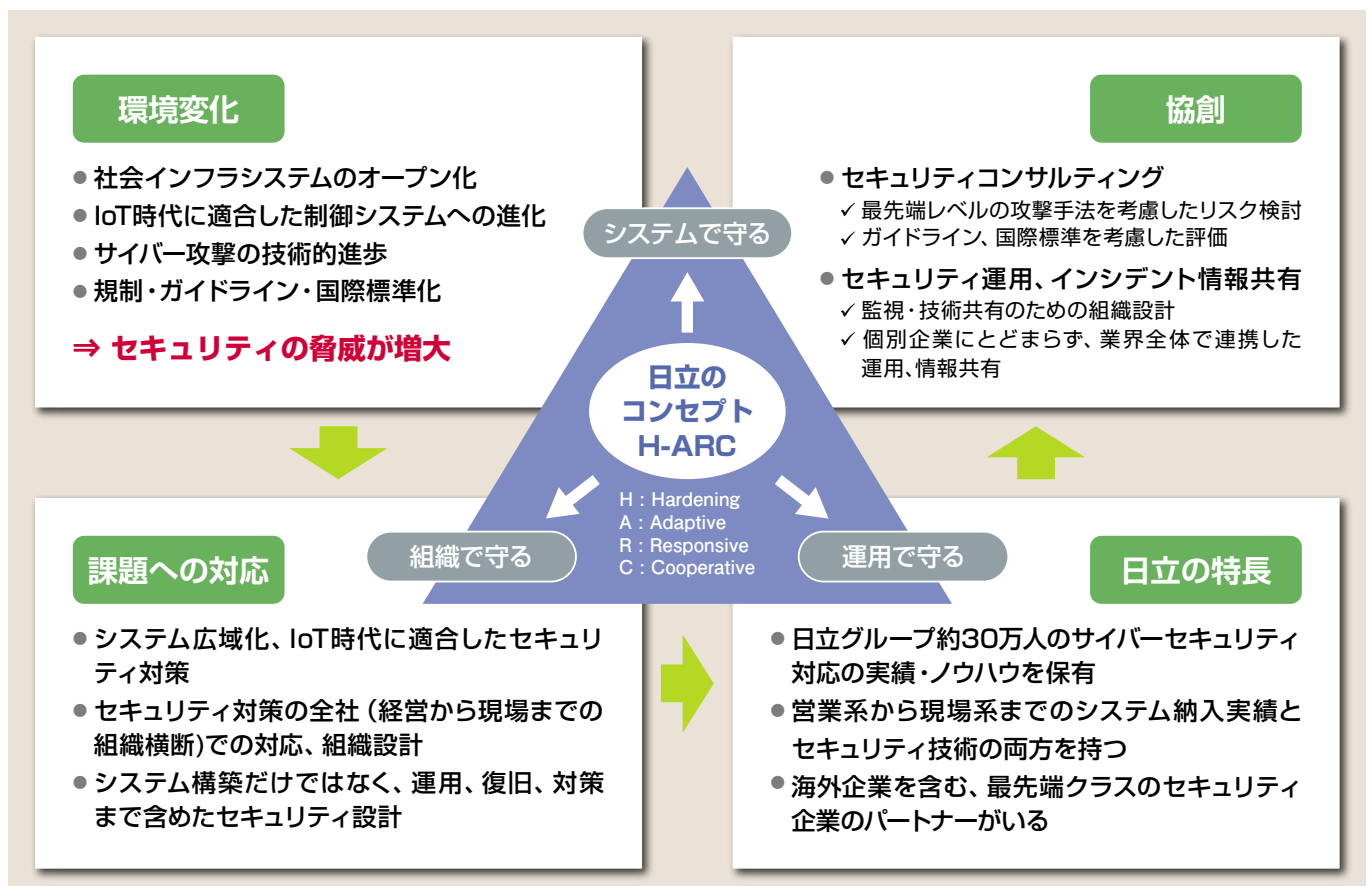


図1 日立のセキュリティコンセプト

国際標準に沿った CSMS構築支援サービス

日立はH-ARCコンセプトに基づき、バリューチェーンの観点を取り入れた社会インフラ向けのセキュリティソリューションの提供を開始しました。上流では「組織で守る。」を具現化するためのCSMS構築支援やセキュリティ診断のサービスを提供。「システムで守る。」という観点では、幅広いセキュリティ関連製品を活用したシステム構築を行います。また下流では「運用で守る。」の観点から、セキュリティの監視・検知・情報共有・対策のためのソリューションを提供。社会インフラ事業者の立場で、トータルなバリューチェーンを構成するソリューションを用意している点が大きなき長です(図2)。

その第一弾として提供を開始したCSMS構築支援サービスは、制御システムを対象とした国際標準 IEC 62443-2-1に基づいたリスクアセスメントの実施と対抗策の施行、セキュリティポリシーや組織の確立、効果的なセキュリティ監視とインシデント対応などを実現するCSMSの構築を、お客さまとともに進めていくものです。

日立は本サービスの提供に先立ち、制御システムを使う企業のCSMS認証を世界で初めて行ったJQAと連携し、CSMSの普及に向けた取り組みを共同で推進することに合意しました。本サービスではJQAの先進的な知見と、日立が長年培ってきた重要インフラの事業者向けに提供してきたセキュリティソリューションの構築ノウハウを

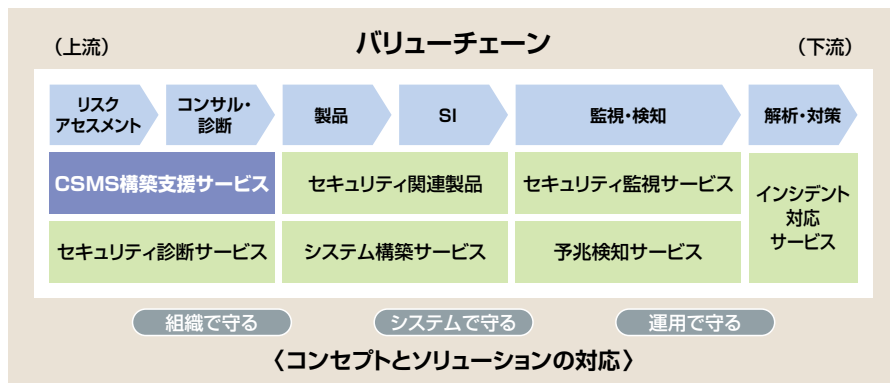


図2 日立のセキュリティソリューション

もとに、お客さまのCSMS構築をトータルに支援していきます。

CSMS構築支援サービスの特長

■制御システムの構築実績とCSMSに関するノウハウを活用

日立がこれまで、多くの社会インフラシステム事業者にも納入してきた制御システムの構築実績と、社会インフラシステムを守るための多層防御や予兆検知、サイバーとフィジカルを融合したセキュリティシステムに関するさまざまな経験・ノウハウを提供します。また、CSMSなどの適合性評価制度の委員会活動に参加した知見も生かしてサービスを提供します。

■日立グループ約30万人の運用実績がベースに

日立グループでは、約30万人の社内ユーザーに対してITインフラサービスを提供し、外部からのサイバー攻撃に日々、対応・対策を実施しています。この運用実績と経験をベースに、マネジメントシステムの構築だけでなく、

具体的なセキュリティ監視・運用に至るまでのセキュリティソリューションを提供していきます。

■認証機関からの知見も活用

必要に応じて、JQAの業務相談なども利用しながら、認証機関の高い知見を活用することができます。また、CSMS認証取得を希望される場合も、その取得に備えることが可能です。

社会インフラシステムのセキュリティレベルを向上

CSMS構築支援サービスを利用することで、お客さまは国際標準IEC 62443-2-1に沿ったセキュリティマネジメントシステムの容易な構築が可能となり、社会インフラシステムがサイバー攻撃で停止するリスクやセキュリティ事故発生の可能性を低減し、社会インフラの利用者へのサービス継続が実現できます。

今後も日立はJQAとともに、社会インフラシステムのセキュリティレベルを向上させ、安全・安心な社会の実現に貢献していきます。

お問い合わせ先

(株)日立製作所 社会イノベーション事業推進本部 セキュリティ事業推進本部
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/Secureplaza/inquiry.html>

■ 情報提供サイト
<http://www.hitachi.co.jp/Secureplaza/>